

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童英語教育概論			13701	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

【参考文献】

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス 2021
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法 I			13705	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
後藤 江里	選択	2	インターナショナルスクール幼稚園教諭・保育士			

授業の到達目標

小学校・中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導、学習評価の基礎を、次に続く英語科教育法II、III、IVの授業との連携も視野に入れて身に付ける。
英語教師として学習指導を行うための基礎づくりを目指す。英語そのものに関する知識や運用能力を向上させながら、第二言語習得のプロセスや運用のメカニズムに関する基礎知識を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

授業の概要

授業の概要：学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導についての基礎的な知識及び複数の領域を統合した指導法を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。
教師にとってもっとも重要なのは、自分に与えられた実際の「教育の場」という現実から最善の方策を生み出す能力であると思われるが、そのためには、実際の英語学習指導にどのようなファクターがどのように作用しているかを見極めることができなければならない。それぞれの生徒に各自の持っている潜在能力を学習場面で最大限に発揮させることが教師にとって重要課題になるが、そのためにこの授業では、教師が一方的に講義するのではなく、学生に問題提起し、資料を提供し、それに基づいて積極的に考え、実践してもらう予定である。

授業計画

- 1 英語教育の目的(1)小・中・高等学校学習指導要領の理解
- 2 英語教育の目的(2)小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方
- 3 第2言語習得研究(1)学習者の特質・認知的要因
- 4 第2言語習得研究(2)学習者の特質・情意的要因
- 5 第2言語習得研究(3)学習者の特質・動機付け
- 6 英語教材研究(1)音声とつづり字
- 7 英語教材研究(2)語彙と表現
- 8 英語教材研究(3)文法と情報構造
- 9 英語教材研究(4)Eラーニング、ICT教育
- 10 音声言語指導 リスニング・スピーキング(やり取り・発音)の指導

- 11 音声言語指導 リスニング・スピーキングの授業展開、チームティーチング
- 12 書記言語指導 リーディング・ライティングの指導
- 13 言語能力の測定と評価(1)パフォーマンス評価等評価方法と評価基準
- 14 言語能力の測定と評価(2)テストの意義と作成上の留意点
- 15 総括 英語教師の資質と能力

授業の方法

講義のほかに発表を多く取り入れる。

準備学修

必ず、あらかじめテキストを読み、予習して授業に臨むこと。

課題・評価方法、その他

平常点40%、発表点40%、定期試験20%

欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

テキスト

新・グローバル時代の英語教育 - 新学習指導要領に対応した英語科教育法 岡秀夫 編著 成美堂

参考図書

『外国語学習の科学』白井恭弘（岩波書店）
『中学校学習指導要領解説 外国語編【最新版】』（文部科学省）
『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編【最新版】』（文部科学省）
その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

授業中の意欲、積極的学習態度を評価する。課題発表にさいしては、発表者と聞く側の学生が質疑応答を通して議論を深めること。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅱ	ET		13709	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「英語」)			

授業の到達目標

中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導の基礎及び異文化理解を、次に続く英語科教育法Ⅲ・Ⅳの授業との連携も視野に入れて徹底する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)、I(知性)、In(国際性)、E(倫理)を学ぶ。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」の養成を重要な柱と位置づけ、以下(授業計画)の具体的項目に関して教育法の鳥瞰図の全体像を示し、学生の自覚・理解を促す。

授業計画

- 1 はじめに:授業の概要について
- 2 学習指導要領の理解
- 3 英語の指導目標と内容
- 4 学習者の要因
- 5 言語習得の理論と諸問題
- 6 発音の指導
- 7 文字と綴りの指導
- 8 語彙表現、文法の指導
- 9 リスニングの指導
- 10スピーキングの指導
- 11リーディングの指導
- 12ライティングの指導
- 13言語技術を統合した指導
- 14異文化理解
- 15総括(複数領域を統合した言語活動の指導を中心に)
- 16定期試験

授業の方法

講義のほかに各自の発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題:講義のテーマによってはレポート作成を課し、講義中、あるいは個人指導においてフィードバックを行う。

評価方法:平常点30%、定期試験70%

授業中の積極的な質疑応答を高く評価する。

欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

テキスト

土屋澄男・広野威志『最新英語科教育法入門』研究社

参考図書

白井恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(岩波書店)

中学校学習指導要領解説 外国語編 [最新版] (文部科学省)

高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 [最新版] (文部科学省)

その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

課題担当者は、発表の内容のみならず、プレゼンテーションの方法も工夫すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュ I	ET		13725	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と中小高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can・Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作(監修)小川隆夫、東仁美(著) mpi松香フォニックス 適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年

『Let's Try! 1』 『Let's Try! 2』 文部科学省

その他、必要に応じて、随時紹介する。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
学習・言語心理学		17447	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中園 佐恵子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

授業の到達目標

人は言語を獲得することを通して、思考や行動の統制、気持ちを表現する力を身に付ける。本講義は「人の行動が変化する過程」と「言語の習得における機序」について学ぶ。人が新たに行動を獲得する心理学的な理論及び、言語を獲得する発達過程、言語の持つ力、心理学のナラティブ理論について学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

子どもの行動の学習とことばの発達過程について学ぶ。前半は、人が新しい行動を身につける過程を示した学習理論や、動機づけ、認知について学ぶ。後半は、言葉の発達過程を中心に、言葉と自己、思考、行動のコントロールについて学ぶ。また、言葉に関わる心理学の分野であるナラティブについても学ぶ。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 学習理論1
- 3 学習理論2
- 4 学習理論と動機づけ
- 5 自己とことば1
- 6 自己とことば2
- 7 ことばの発達1
- 8 ことばの発達2
- 9 ことばの発達3
- 10 ことばの発達4
- 11 思考とことば
- 12 行動のコントロール
- 13 ことばを育むために
- 14 ことばにおけるナラティブ理論
- 15 まとめ

授業の方法

講義形式を中心に、具体例を紹介しつつ、基礎的な知識について学ぶ。授業で学んだことを振り返る時間も設ける。

準備学修

毎日30分程度、予習・復習を行う。

課題・評価方法、その他

振り返りの後、担当教員によるフィードバックを行う。
平常点30%、定期試験70%

欠席について

学内の規定に従う。

テキスト

松川利広監修 横山真貴子編著 『子どもの育ちとことば』教育情報出版

教員連絡先

nakazono@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語科指導法		17467	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。		

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と小中高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can・Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキスト 『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領〈平成29年度告示〉解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』文部科学省
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語		17511	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。		

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス 2021
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
その他、必要に応じて、随時紹介する。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等体育	①/②	17513	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
木岡 正雄	選択	2	公立小学校教員		

授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKSAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育の教材内容を実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

授業計画

- 1 オリエンテーション。自己紹介。運動学習について概略を講義する。
- 2 体づくり運動 体ほぐしの運動の実技をする。
- 3 体づくり運動 体力を高める運動の実技をする。
- 4 陸上運動系 かけっこの実技をする。
- 5 陸上運動系 障害走の実技をする。
- 6 陸上運動系 リレーの実技をする。
- 7 器械運動系 マット運動の実技をする。
- 8 器械運動系 跳び箱の実技をする。
- 9 器械運動系 マット・跳び箱運動の実技をする。
- 10 ゲーム 鬼遊び等のゲームをする。
- 11 ボール運動 ベースボール型のゲームをする。
- 12 ボール運動 ネット型のゲームをする。
- 13 ボール運動 ゴール型のゲームをする。
- 14 ボール運動 ゴール型のゲームをする。
- 15 学習のまとめ。体育学習の工夫等について講義する。

授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、自ら運動の工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇」を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行う。

課題・評価方法、その他

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

テキスト

使用しない

参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇
平成23年版、令和2年度版神戸市小学校体育指導のてびき

留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

教員連絡先

〒651-2277 神戸市西区美賀多台4-7-20
自宅電話&Fax 078-961-4362